

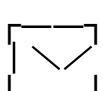
★★★★★★★★★★★★★★★★2010年6月1日★★★★★★★★★★★★★

★★★★★★★★★★！九段会計通信！！★★★★★★★★

★★★★★★★★★★http://www.kudan-tax.jp/★★★★★★★★★★★

◇九段会計通信 Vol.13のコンテンツ◇

- こんなときどうなる？身近な税務トピック
 - ・小規模企業共済制度編
- 温故知新な<九段的ヒトコト>
- 編集後記



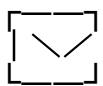
■こんなときどうなる？身近な税務トピック

●小規模企業共済制度編

小規模企業共済制度は、個人事業主が事業をやめられた後、
または小規模会社（従業員の数が20人以下、ただしサービス業の場合には5人以下）の
役員が退職した後に、安定した生活を送れるよう
あらかじめ準備しておく退職金制度で、国が全額出資している
独立行政法人中小企業基盤整備機構が運営しています。

掛金は、役員らが自分の給料から支払い、
月額1,000円～70,000円で任意に行えます。
こちらの支払額は、年末調整や確定申告で全額所得から控除することができます。
また、受取った共済金は受取り方により、退職所得又は公的年金等の雑所得
(途中で解約した場合を除きます)に該当します。
どちらに該当するにせよ、収入から一定の金額を控除することができるため、
課税額を抑えることができます。
退職金の準備が難しい個人事業主、中小企業様に至っては、
有用な節税対策と言えるでしょう。

メールマガジン編集担当 沼辺 勇樹



■温故知新な<九段的ヒトコト>

「ハンバーガーのようなビジネスは、1個1個売っていくんですから、
満塁ホームランはない。一塁に出ればいい。」

それが集まって巨大産業になっていく」

-藤田田（日本マクドナルド、日本トイザらス創業者）

たった一人のスターだけが活躍するのでは、
そのスターに依存してしまう。
満塁ホームランを狙っているだけでは
当たれば大きいがその不確実性が伴い、
ともすればバットにも当たらないまま終わる。
目標が大きすぎでは、行動が漠然とてしまう。

地道に一步一步、歩みを進めること。
一人一人ができる事を少しずつでも進めていくこと。
小さい売上、粗利を積み上げること。
その大切さや尊さを知っていたから、
日本で指折りの外食企業を築きあげることが
できたのかもしれません。

メールマガジン編集担当 新井 良平



先日、あるお客様から、「トイレの神様」という曲を教えていただきました。
題名からは、子供向け、若しくは、ギャグ系かと思いましたが、
聞いてびっくり！とても感動の曲でした。
(是非皆さんも一度聞いてみて下さい！YouTubeで見れます！)
このように、色々な方から、自分の知らない情報をいただけるのは、
本当にありがたいことです。
今の時代、自分一人の情報では少なすぎて、
太刀打ちできないような気がします。
色々な方の力を借りて、情報をスリム化し、加工することが必要なのでしょうね。
私も少しでもお役立ち情報を発信したいと思ってます。

とりあえず…
業績のいい会社の社長は運がある、若しくは運がいいと思っている、
というのが経験上私の持論です。
根拠は無いけど、とりあえず「自分はツイている！」と思いこむと、
本当にツイてくるかもしれませんね。

メールマガジン編集責任者 矢合 真弓
